

土研新技術ショーケース2025 in 東京
令和7年 9月25日

環境DNAを活用した 環境情報の高度化

国立研究開発法人 土木研究所
流域水環境研究グループ（流域生態チーム）
特任研究員 村岡 敬子



環境DNA たったバケツ一杯の水から生物情報！

2

FWRI

捕獲をせずに生物情報を得る



令和8年度
河川水辺の国勢調査に実装

河川水辺の国勢調査と環境DNA



土木研究所では、国土交通省と連携した全国調査、様々な機関と連携した共同研究などを通じ、河川管理の現場における環境DNAの標準化を進めてきました。

環境DNAのコーナーには、10枚のパネルが展示されています。

土木研究所からは、河川水辺の国勢調査に関わる事項を中心に展示発表します。

どんな技術？ 環境DNA調査技術

河川水辺の国勢調査と環境DNA（河川版） 全国調査でわかってきたこと

河川水辺の国勢調査のためのサンプルの取り扱い

環境DNA調査時における調査地点間隔の設定が確認種数に与える影響

生態系の保全に向けた残サンプルの有効活用～環境DNAアーカイブ

いずれも、水国実装前夜の今、皆さんに知っておいていただきたい事項です

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究 全体像

環境DNAを活用した 環境情報の高度化に関する共同研究 R4-6

国研 土木研究所

流域水環境研究グループ
流域生態チーム

指定機関

国研 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所

国研 農研機構

民間事業者

いであ株式会社
株式会社ウエスコ
株式会社エコー
応用地質株式会社
株式会社建設環境研究所
株式会社建設技術研究所
日本工営株式会社
大成建設株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
公益財団法人リバーフロント研究所
一般社団法人水源地環境センター

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究報告書

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究概要集



環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究 R4-6



～外せないスポットはどこだ？

環境条件から検討する採水地点～

河川における効率的な環境DNA採水条件の検討

パシフィックコンサルタンツ 株式会社

～海綿スポンジが環境調査を変える？！～

パッシブサンプリング法による調査の試行

(公財) リバーフロント研究所、日本工営 株式会社

生物情報を面的に捉える！

環境DNAデータを用いた流域における魚類のポテンシャルマップ作成

株式会社 建設環境研究所

魚だけじゃない、もっと使える環境DNA！

両生類の生息状況の把握に向けた取り組み

大成建設 株式会社

上記技術の研究を担当した技術者が来場中！パネル会場にて直接説明いたします！